

豊田市こども発達センター 15周年記念号第2弾

第33号に続きまして、15周年を迎えた豊田市こども発達センターの話題を中心にお伝えします。

15年間を支えてくださったボランティアさんの紹介（パート2）

とまとボランティア（あおぞら）

お母さん方の心配なこと、困っていることをお母さん同士で話し合うため、グループ懇談会をあおぞら全体で月に5～6回行っています。そのグループ懇談会の間、子どもたちを託児してくださるのが、「とまとボランティア」の方々です。

お母さんと離れて不安な子どもたちの姿に合わせて、抱っこしたり絵本を読んだり、ままごとなどで遊んでいただいています。

こうしたボランティアの方々のお力で、とても有意義なグループ懇談会ができています。

こどもひろば託児ボランティア

各通園施設に通う園児の兄弟姉妹を療育中に預かる託児ボランティアとして、毎日多くの子どもたちを受入れていただいております。

最初はお母さんから離れられず、泣き出したり、不安な表情をする子どもたちも、優しいボランティアさんと一緒に遊んでいるうちに慣れ、笑顔で楽しく過ごせるようになります。

また、保護者の方も通園児の兄弟姉妹を預けられることで安心して療育に専念できます。

美容ボランティアで美容室グラフィティーの山田英人さん 愛知県社協会長感謝・豊田市市長感謝顕彰を受賞！

「なのはな」や「たんぼぼ」に通う園児の頭髪を約15年間、きれいに散髪して下さっている美容室「グラフィティー」の山田英人さんが、このたび、2つの感謝表彰を受賞されました。

そこで今回、直接ご本人にお話を聞かせていただきました。



①美容ボランティアを始めたきっかけは？

- ・「何か外で活動してみたい」と思っていた時に、お客さんから偶然、こども発達センターを紹介され、美容ボランティアをやってみようと思いました。

②継続の原動力は？

- ・今後も「無敗伝説」を続けたいという一心です！無敗伝説とは、今まで千人を超える子どもさんを散髪してきましたが、「散髪できなかったことが一度もない。」という自分の中での伝説のことです。これは何としても続けていきたいと思えます。そして、卒園した子どもさんたちが、今でも店に来てくれることも大切な原動力です。

③心に残るエピソードは？

- ・最初の頃は『美容院に来ることができないから、「こちらから行ってあげる。』という感覚でしたが、たんぼぼの当時の主任先生との会話の中で、「障がいの有無に関係なく、美容院に来てもらえるようにしたい。」という心の変化があったことです。

④今後の抱負は？

- ・新しい子どもさんが「たんぼぼ」や「なのはな」に入ってきてても、この「無敗伝説」が途絶えないようにがんばります！

こども発達センターのロゴマークが誕生しました！



大賞
塩崎エイイチさん

豊田市こども発達センター設立15周年を記念して「ロゴマーク」を公募したところ、豊田市内から58点、市外から176点と多数のご応募をいただきました。本当にありがとうございました。

厳正な審査を行った結果、大賞には塩崎エイイチさん（大阪府在住66歳）の作品（左）が選ばれました。

塩崎さんからは「豊田の『と』」をモチーフにして、子どもを中心にお母さんとお父さん、みんな笑顔いっぱいの家族を描きました。このロゴマークが市民の皆さまに親しまれますように。」とのお言葉をいただきました。

また、特別賞として深田真由さん（豊田市立梅坪小学校6年）の作品（右）が選ばれました。

深田さんは、生まれつき筋力が弱く、のぞみ診療所のリハビリに毎月通っておられます。

弱い手の力を一所懸命使って「素敵な笑顔（Child, CenterのCで目を、HattatsuのHで口を表したそうです）」を描いてくれました。

深田さんには表彰状と記念品が贈られました。（右写真中央）



特別賞
深田真由さん



豊田市福祉事業団トピックス

障がい者雇用のためのセミナーを開催（障がい者就労・生活支援センター）

平成22年11月25日に「障がい者雇用のためのセミナー」を開催し、32社の企業担当者37名と福祉、学校関係者19名の参加をいただきました。

障がい者雇用に関する事例紹介や各種制度、支援センターとの連携の具体的事例を紹介し、障がい者雇用促進に向けた連携の推進を図ることができました。

新商品「わんわんクッキー」各店舗にて好評発売中（けやきワークス）

＜販売店舗＞（順不同・敬称略）

わんわん美容室あ〜と、アート・スペース彩、リップママ、ティア佳織の店、犬の美容室ショコラ（豊田店、天白店）、平成ペット（有）、NOEVIR豊田販売会社、（株）タイホウライフサービス、喫茶ZELKOVA

県より「あいち・出会いと体験の道場応援団認定証」を頂きました（第二ひまわり）

豊田市内の小中学校からの職場体験の受入れを評価していただき、愛知県より「あいち・出会いと体験の道場応援団認定証」を頂きました。

これからも多くの児童、生徒の皆様の体験の場として、障がい者への理解を深める場として、積極的に職場体験を受け入れてまいります！

地域交流活動を実施しています（暖）

暖では利用者による創作品の販売をしていますが、中でも地域交流活動として、地域の行事（交流館祭等）でのバザー出店を積極的に行っています。施設内でも雑貨屋コーナーとして販売を行っていますので、是非お立ち寄りください。